

飛ばない鳥のとんだ能力 - 書評 - ダチョウカ

買いそびれていたのを昨日入手。

これは、すごい。

本や著者、というよりダチョウという生き物が。

あの飛ばない鳥が、ペンギンのように天敵がほとんどいない南極や孤島でもなく、ヤンバルクイナのように森に身を隠すのでもなく、敵だらけのサバンナで生き延びてきたわけがよくわかる。



本書「ダチョウカ」は、「だちょうりよく」でも、ましてや「だちょうか」でもなく「だちょうちから」と読む(奥付にわざわざルビがふってある)。子供の頃から鳥が好きで、その好きな鳥を殺めてしまった痛い思い出を胸に獣医師になって...というはずいぶんまっすぐな道を歩んできたようだが、しかしそれなら臨床に行くはずが、研究者となり、そして同じ鳥類でも飛ばない鳥にはまったのはなぜか。

目次 - 生命環境科学研究科 塚本康浩教授著『ダチョウカ:愛する鳥を「救世主」に変えた博士の愉快的な研究生活』刊行 - 京都府立大学より

第1章 ダチョウは不死鳥?

愛のダチョウ観察日記 / ダチョウで産廃処理 / ダチョウの鈍感力 / ダチョウの主治医生活

第2章 博士、ダチョウを飼う

ダチョウ人生の幕開け / ダチョウが好き / 研究にこじつけてダチョウを飼う / ダチョウはキャンパスのアイドル / ダチョウの養育費に悩む / 研究室で行われたダチョウの試食会 / ダチョウの絵日記を描いた幼稚園児たち / ダチョウ一号大脱走

第3章 大発見!ダチョウの卵パワー

ダチョウは金の卵を産む? / 挫折した最初のダチョウ抗体研究 / 凶暴なダチョウも女性には優しい / ついにダチョウ卵から抗体をつくる / 牛丼屋でひらめいたダチョウ抗体分離法 / ウイルスとダチョウ抗体 / 美女とダチョウ

第4章 ダチョウ抗体が恐怖のウイルスを退治する!

インドネシアで危険なダチョウ抗体実験 / ダチョウマスク発送の原点 / ダチョウは鳥インフルエンザに強い

第5章 人類を救うダチョウの底力

ダチョウ抗体を狙う怪しい男 / ダチョウ抗体でノロウイルス撃退 / ダチョウ抗体で愛するペットを守る / ダチョウカで理科離れをいとめろ! / ダチョウカでガンが治る?
あとがき

それほど厚い本ではないので、これ以上の内容紹介は控えたい。が、それでもダチョウが人のために何を生み出すかだけは紹介しておいた方がよいだろう。

これである。マスクではなく抗体。それも、文字通り卵の中に生み出してくれるのである。

P. 119

ダチョウ卵一個から取れる抗体は四グラムだ。

これを見てのけぞった人は、化学か生物学の素養があるかも知れない。抗体はそもそもグラムで測るものではない。ピコグラムとかナノグラムで測るものなのだ。なにしろ

従来生産されているウサギやラットの抗体は一グラムあたり数億円もするため、とうていマスクを量産することはできない

のだ。この四グラムの抗体の製造価格は十万円。これだって重量あたりにすれば、同じ重さの金より二桁高いが、今までより四桁低いこの製造コストが、マスクに抗体をしこむことを可能にした。この四グラムの抗体は、マスク8万枚分。マスク一枚に必要な抗体は、目方にして50マイクログラム=5万ナノグラム=5000万ピコグラム。確かにダチョウあってのマスクである。

ダチョウがこれだけの抗体を作るのには、わけがある。おつむが弱いのだ。飛ばない上におつむが弱いとはこれでよく狩り尽くされずにすんでいると関心してしまうが、回復力がだてじゃない。他の動物なら確実に死ぬような怪我でも治ってしまう。その様子は感心を通り越し、さらに恐怖まで通り越して滑稽ですらある。その超絶的滑稽ぶりはぜひ本書で確認していただきたい。

ダチョウカ4000mgの力を、あなたに。



ダチョウ卵黄抗体マスク
クロシード/CROSSEED社